

24日P協発第75号

平成24年8月8日

各地方協議会 会長様

社団法人日本PTA全国協議会

会長 武田 岳彦

### いじめの問題への適切な取組について

日頃、本協議会に対しましてご支援・ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年10月、大津市の中学2年の男子生徒が自殺するという痛ましい事件が発生しました。報道によれば、その原因は、いじめにあるとされており、これが真実とすれば誠に残念です。

このような痛ましい事故は二度とあってはならないものであり、日本PTAとして、去る7月25日、文部科学大臣に対し、別添のとおり、子どもを守るとの視点を中心に、学校・教育委員会のより一層の適切な取組や保護者、地域との連携の強化など、いじめを根絶できる効果のある措置を講じるよう要請したところです。

これまで、各地方協議会、郡市PTA及び単位PTAにおかれては、いじめの問題への対応について、PTA活動を通して取組んでいただいているところではありますが、今回の事件を契機として、日本PTAとしては、子どもたちを守る教育の原点が家庭教育にあることに立ち返り、会員全員が「いじめの根絶」と「いのちの尊さ」について再確認することとしました。

つきましては、貴地方協議会会員各位に対し、次のことについて周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## いじめの根絶と「いのち」の尊さを訴える

昨年10月、大津市で中学2年の男子生徒が自殺するという事件が発生しました。報道によれば、その原因は、いじめであるとされており、これが真実であれば誠に残念です。このような痛ましい事件は二度とあってはならないものです。

私たちは、これまでも、子どもたちに「いじめ」はいけないことだときちんと教えることや教育の原点である家庭教育のあり方を改めて問い直すことを確認してきました。

今回の悲惨な事件を真摯に受け止め、検証や今後の対応について関係機関へ働きかけるとともに、日本PTAとして、子どもたちを守る視点に立ち、いじめの根絶と「いのち」の尊さを訴えることを次のとおり再確認します。

一、私たちは「子育ての第一責任者である」ことを認識しよう。

一、子どもたちに「いじめはしてはいけないこと」だと教えよう。

一、子どもたちに「『いのち』の大切さを」教えよう。

一、子どもたちが発する「シグナル」に注意しよう。

一、いじめに気がいたら「素早く対応」しよう。

平成24年8月8日  
社団法人日本PTA全国協議会  
会長 武田 岳彦